

○計画期間：平成25年4月～平成30年3月（平成25年3月29日認定）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成25年度終了時点（平成26年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は平成25年3月29日、中心市街地活性化基本計画の認定を受け、同年4月より基本計画に位置付けられた各事業を推進している。

認定後1年が経過したが、県内初の認定計画ということもあり、官民を挙げて中心市街地活性化を推進する意識の向上が見受けられる。

基本計画の進捗を測る目標指標として、「歩行者及び自転車通行者数」、「居住人口」の2つを設定した。目標値の積算根拠には、中心市街地活性化の核となる大規模事業（小田原地下街再生事業、お城通り地区再開発事業、芸術文化創造センター整備事業）の進捗が深く関わることから、現在、いずれも順調に進捗（着工）しているが、指標への反映については事業完了後に精査することになる。

2. 平成25年度の実施等に対する中心市街地活性化協議会の意見

小田原市中心市街地活性化協議会は、小田原市中心市街地活性化基本計画フォローアップの報告について、平成26年4月28日に市から説明を受け、協議した結果、当協議会として、下記の通りの意見を提出いたします。

- ・計画推進にあたっては、民間が協力しやすいように、より具体的に情報提供をしていただきたい。
- ・フォローアップの通行量数値については、天候などの要因についても記載していただきたい。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
訪れたい・歩きたいまちづくり	歩行者及び自転車通行者数	62,123人 (H23)	68,069人 (H29)	61,128人 (H25)	—	①
住みたい・暮らしやすいまちづくり	居住人口（中心市街地の定住人口）	10,841人 (H24)	11,054人 (H29)	10,850人 (H25)	—	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

「歩行者及び自転車通行者数」については、直近5年間の調査における天候はほぼ良好であり気象的な要因が数値に影響することはないと推測される。

また、中心市街地活性化の核となる大規模事業では工事に入ったものもあり、中心市街地の回遊性や誘引力へ影響を及ぼすことが推測される（観測地点15地点のうち、2地点は工事に伴う通行阻害要因が生じている。）。

しかしながら、基準年（平成23年度）からは微減、平成24年度（昨年度）からは増加していること等を鑑みると、工事終了等での事業完了後においては目標値を達成できる見込みであると言える。

「居住人口」については、市全体の人口は減少傾向（平成24年度196,880人⇒平成25年度196,073人：807人減）であるが、中心市街地においては、基準年（平成24年度）との比較では微増傾向にある。今後は現在進捗している大規模事業により、上昇が見込まれることから概ね良好な状況と捉えることができる。

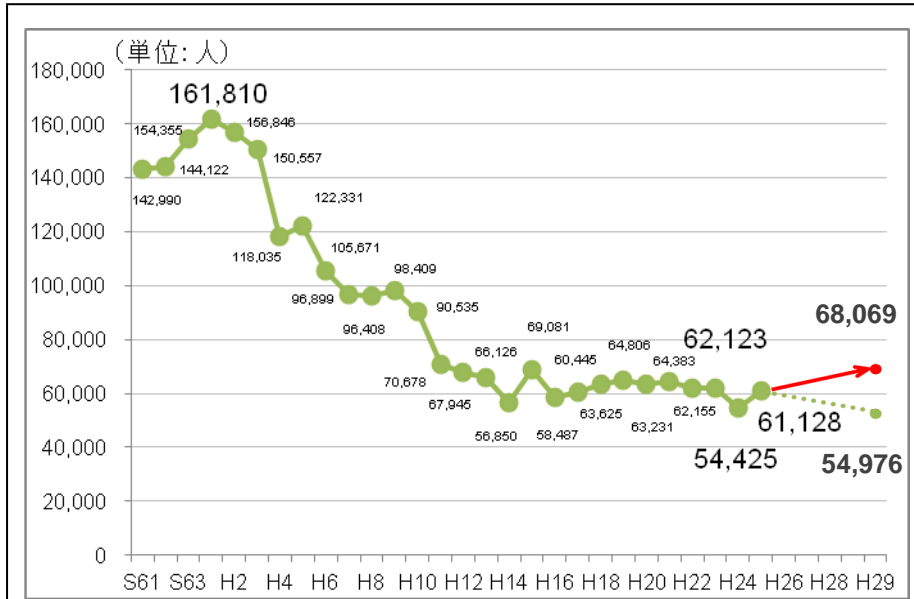
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

平成25年度からスタートした計画であるため、前回フォローアップは実施していない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「歩行者及び自転車通行者数」※目標設定の考え方 基本計画P55～P63参照

●調査結果の推移



年度	(人)
H23	62,123 (基準年値)
H24	54,425
H25	61,128
H26	
H27	
H28	
H29	
H29	68,069 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行者、毎年12月の第2土曜日の正午～午後6時で計測

※調査月：平成25年12月14日（天候：晴れ）

※調査主体：主要商店街流動客調査実行委員会

※調査対象：中心市街地内15地点における歩行者・自転車の通行量

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 芸術文化創造センター整備事業（小田原市）

事業完了時期	平成28年度【未】
事業概要	芸術文化創造の拠点として芸術文化創造センターを整備する。
事業効果及び進捗状況	芸術文化への関心が高まり、優れた芸術文化に触れるとともに、活動発表の場として活用される芸術文化創造の拠点を整備する。芸術文化による回遊拠点として、目標指標である歩行者数及び自転車通行者数の向上に寄与するものと捉えている。 平成28年度中の完成を目指し、事業は着実に進捗している。

②. 小田原地下街再生事業（小田原市）

事業完了時期	平成27年度【未】
事業概要	地域の魅力やその情報を発信するとともに、地域の素材を活かした商品の販売などにより、市内への回遊拠点と地域経済振興の拠点として、地下街を再生する。
事業効果及び進捗状況	地域経済の振興と中心市街地の活性化の拠点施設として、にぎわいを創出するとともに、回遊性が促進され、目標指標である

歩行者数及び自転車通行者数の向上に寄与するものと捉えている。
平成 26 年度中の供用開始を目指し、事業は着実に進捗している。

③. お城通り地区再開発事業（（一財）小田原市事業協会、民間事業者）

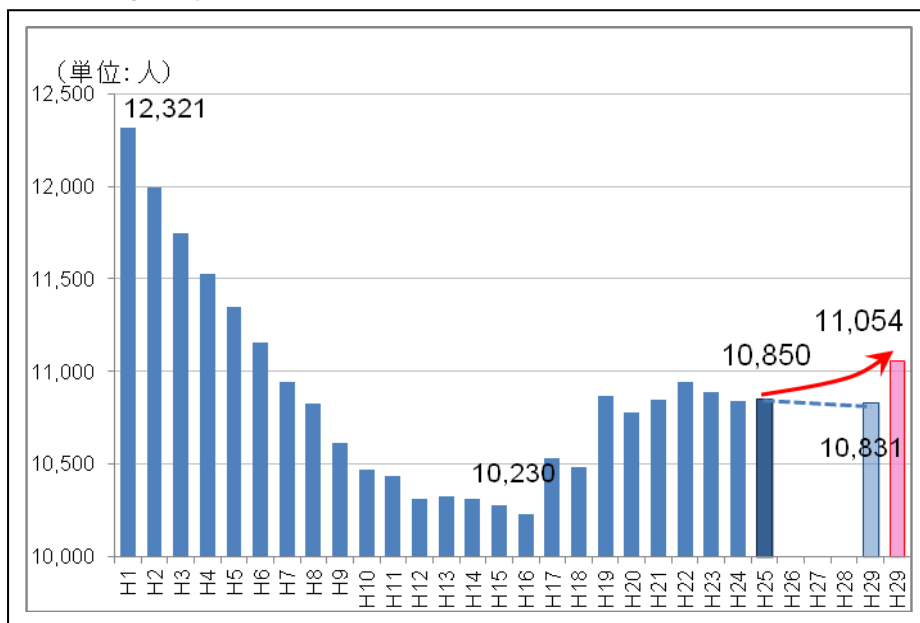
事業完了時期	平成 27 年度【未】
事業概要	広域交流施設ゾーン…商業・業務施設と公共・公益施設による複合集客施設、広場を整備する。 駐車場施設ゾーン…立体駐車場整備と 1 階部分に公共・公益施設などを配置する。
事業効果及び進捗状況	小田原駅周辺地区に求められている人・もの・情報の交流拠点の役割と交流の場を支える都市機能の整備により、目標指標である歩行者数及び自転車通行者数の向上に寄与するものと捉えている。 平成 27 年度中の完成を目指し、事業は着実に進捗している。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に推移している。中心市街地活性化の核となる大規模事業の推進に加えて、既存ストックを有効に利活用する事業が融合し、相乗効果を発揮することで、中心市街地全体に効果を浸透させていきたい。

「居住人口」 ※目標設定の考え方 基本計画 P 6 4 ~ P 6 7 参照

●調査結果の推移



年度	(人)
H24	10,841 (基準年値)
H25	10,850
H26	
H27	
H28	
H29	
H29	11,054 (目標値)

※調査方法：居住人口、国勢調査を基礎とした毎年10月1日の人口を集計

※調査月：平成25年10月1日

※調査主体：小田原市

※調査対象：中心市街地エリアの居住人口

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

②. 都市廊【住みよい居住空間づくり事業】(小田原市、民間事業者)

事業完了時期	未定【未】
事業概要	街なか居住を推進するために商店・居住が一体となった共同建て替えを推進する。
事業効果及び進捗状況	連続した回遊性や利便性、地域コミュニティが再生され、快適で魅力的な街なか空間づくりが構築されることにより、目標指標である居住人口の向上に寄与するものと捉えている。 平成25年度は、庁内に「住みよい居住空間づくり部会」を設置し、課題の整理等に着手している。

●目標達成の見通し及び今後の対策

※②都市廊【住みよい居住空間づくり事業】共同建て替えによる、居住空間のフロア数を5、各フロアの戸数を1、その棟数を2とする建築物の整備を想定し、目標数値22人を設定しているが、共同建て替えの実施には相応の期間を要することから、数値評価は中長期での考察を要する。居住人口増加に向けた共同建て替えの推進については、施設整備費がかさむことから、事業採算性を考慮したプランを検討するとともに、関連条例の見直しや民間事業に対する助成制度を検討していく予定である。